

1月になると、ウメの話題をよく耳にします。私が担当させていただいているお客様のお庭でもウメの花芽がふくらみ始めると「去年はたくさん実がなったね」なんて会話が増える時期です。

冬枯れの景色の中で今にも咲きそうなウメの花芽を見るたび、「もうすぐ春が来るなあ」と嬉しくなります。漬けておいた梅酒をちびっと飲みながら、春を楽しみに待つのがこの季節の小さな楽しみです。

ウメの実なりについて「花が下向きにつく年は実がよくなる」という話をご存じでしょうか。実はこれ花の軸が元気よく伸びるほど自然と花が下を向くため、気候が安定している年に起こる現象なんです。逆に、花の時期に雪や長雨が続きと花粉を運ぶ虫たちが動けず実が減る…ということもあります。その年の花の時期の気候に左右される樹木なんですね。

そしてウメの剪定といえば、昔から「ウメ切らぬバカ」と言われるほど、手入れが必要な木です。注意したいのが徒長枝。樹の内側から間延びして伸びてくる枝には、花芽がほとんど

つきません。養分を奪い、樹形も乱してしまう困った存在です。ウメの木は「裸で登れるくらいに切れ」と言われるほど、不要な枝をしっかりと抜いていくことが大事なんですね。

そして庭仕事は体をじんわり温めるいい運動になります。澄んだ空気の中で体を動かすととても清々しく体にエネルギーが湧いてきます。健康のためにもいいことですね。

あなたのお庭のウメは今どんな表情をしていますか？「どこを切ればいいのかかわからない」など気になることがあれば、気軽に木村植物園にご相談ください。お庭の相談会はガーデン倶楽部展示場で水曜日・木曜日に行っておりますよ。ぜひお立ち寄りください。



からうじて成った2つの
レモンをどう使おうかと
毎日ながめている 市川



お庭や植木のお手入れのご相談は、**お庭番** まで（土・日曜日・祝日 定休日）  **0120-152-887** [ダイヤル3番]

今月のお手入れワンポイント 落葉樹の剪定や丈詰めは今が適期 うどんこ病やカイガラ虫予防は2月がいい時期です



みどりの処方箋

新たな年に 緑がくれる健康リズムのONとOFFのススメ —— 忙しさの中に、緑を取り入れたスイッチを。

忙しい日常の中で、心も体もなんとなく疲れてしまうこと、ありませんか？

今までにもガーデンセラピーの考え方でお伝えしていますが私たちの暮らしに「緑」があることで、自然とその疲れや不調がほぐれていく効果があります。

朝、庭を眺め自然の匂いを感じながら、植物の成長に気づくその時間は、まさに「生活のONスイッチ」。身支度を整えるように、気持ちも整っていきます。一方、仕事や家事を終えて庭に出ると、柔らかな夕陽と緑に包まれ、ふっと肩の力が抜けていく。これはまさに「OFFスイッチ」です。

ONのときは、ハーブの香りや色鮮やかな草花でスッキリした気持ちに。OFFのときは、常緑樹や落葉樹の葉の揺れ、木漏れ日を眺めながら、静かに深呼吸。こうした緑との関わり方が、暮らしにメリハリをもたらす、気づかぬうちに心と体を整えてくれます。

新しい年の始まりに、自分なりの「みどりの時間」を取り入れ

てみませんか？朝の一步、お茶を飲むひととき、日が傾いたころの数分間でも構いません。あなたにとっての“庭”が、生活に優しいリズムを生み出してくれるはず。

あなたのONとOFF、それぞれに寄り添う植物はどんな緑でしょう？新たな年に、自分に合った植物を見つけてみるのも楽しいかもしれませんね。



今月もかわら版を
お読みいただき
ありがとうございます！

Web アンケート
ご協力をお願い

回答時間
5分
程度

かわら版をもっと皆様に喜んでいただける内容にするために、ぜひ感想を教えてください！
右のQRコードから、アクセスをお願いします。

